



機械から、赤玉が出ることをR、白玉が出ることをWで表す。

問1 4回目の試行を終えた時点で赤玉が2個、白玉が2個出るのとは次の場合がある。



よって、求める確率 $P_{2,2}$ は、

$$\begin{aligned}
 P_{2,2} &= \frac{1}{2} d^2(1-d) \times 2 + \frac{1}{2} d(1-d)^2 \times 2 + \frac{1}{2} (1-d)^3 \times 2 \\
 &= d^2(1-d) + d(1-d)^2 + (1-d)^3 \\
 &= (1-d)(d^2 - d + 1). \quad \dots \text{(答)}
 \end{aligned}$$

問2 $(n+1)$ 回目の試行を終えた時点で赤玉が n 個、白玉が1個出るのは、 $n \geq 3$ のとき、

(i) 1回目にW、2回目から $(n+1)$ 回目までRが出るとき、

(ii) $n \geq 4$ 、 $2 \leq k \leq n$ において

1回目から $(k-1)$ 回目までR、 k 回目にW、 $(k+1)$ 回目から $(n+1)$ 回目までRが出るとき、

(iii) 1回目から n 回目までR、 $(n+1)$ 回目にWが出るとき、

(i)の確率は、

$$\frac{1}{2} \times (1-d) \times d^{n-1} = \frac{(1-d)d^{n-1}}{2}$$

(ii)の確率は、

$$\begin{aligned}
 &\left\{ \frac{1}{2} \times d^{k-2} \times (1-d)^2 \times d^{n-k} \right\} \times (n-1) \\
 &= \frac{n-1}{2} (1-d)^2 d^{n-2}
 \end{aligned}$$

これは $n=3$ のときも成り立つ。

(iii)の確率は、

$$\frac{1}{2} \times d^{n-1} \times (1-d) = \frac{(1-d)d^{n-1}}{2}$$

よって、(i)、(ii)、(iii)より、

$$\begin{aligned}
 &\frac{(1-d)d^{n-1}}{2} \times 2 + \frac{n-1}{2} (1-d)^2 d^{n-2} \\
 &= \frac{1}{2} (1-d) d^{n-2} \{ (1-d)n + 3d - 1 \}
 \end{aligned}$$

これは $n=1, 2$ のときも成り立つ。

以上から、求める確率 $P_{n,1}$ は、

$$\begin{aligned}
 P_{n,1} &= \frac{1}{2} (1-d) d^{n-2} \{ (1-d)n + 3d - 1 \} \dots \text{(答)} \\
 &\quad (n=1, 2, 3, \dots)
 \end{aligned}$$

1

問3 問2の結果より,

$$P_{4,1} = \frac{1}{2}(1-d)d^2(3-d) \quad (0 < d < 1),$$

ここで,

$$f(x) = \frac{1}{2}(1-x)x^2(3-x) \quad (0 < x < 1)$$

とおくと,

$$f(x) = \frac{1}{2}(x^4 - 4x^3 + 3x^2)$$

$$f'(x) = \frac{1}{2}(4x^3 - 12x^2 + 6x)$$

$$= x(2x^2 - 6x + 3)$$

$$= 2x\left(x - \frac{3-\sqrt{3}}{2}\right)\left(x - \frac{3+\sqrt{3}}{2}\right)$$

$0 < x < 1$ における $f(x)$ の増減は次のようになる。

x	(0)	\dots	$\frac{3-\sqrt{3}}{2}$	\dots	(1)
$f'(x)$		$+$	0	$-$	
$f(x)$	(0)	\nearrow		\searrow	(0)

これより、 $f(x)$ は $x = \frac{3-\sqrt{3}}{2}$ のとき最大であるから、 $P_{4,1}$ の値が最大となる d は、

$$\frac{3-\sqrt{3}}{2} \quad \dots (\text{答})$$

2

問1 $a_1 = \frac{5^1 - 1}{2^2} = \frac{4}{4} = 1,$

$a_2 = \frac{5^2 - 1}{2^3} = \frac{24}{8} = 3,$

$a_3 = \frac{5^4 - 1}{2^4} = \frac{(5^2 + 1)(5^2 - 1)}{2 \cdot 2^3}$

$= 13a_2 = 13 \times 3 = 39.$

... (答)

問2 自然数 n に対し,

$a_{n+1} = \frac{5^{2^{n+1}} - 1}{2^{n+2}}$

$= \frac{(5^{2^n} + 1)(5^{2^n} - 1)}{2 \cdot 2^{n+1}}$

$= \frac{5^{2^n} + 1}{2} a_n$

より,

$b_n = \frac{a_{n+1}}{a_n} = \frac{5^{2^n} + 1}{2}.$

ここで, $5^{2^n} + 1$ は奇数 q の和だから偶数 q' , b_n は整数である. (証明終り)

問3 $a_1 = 1$ であり, a_1 は

整数である.

$n \geq 2$ のとき,

$a_n = a_1 \times b_1 \times b_2 \times \dots \times b_{n-1}$

であり, $a_1 = 1$ と問2の結論

から, a_n は整数であることを示すことができる. (証明終り)

問4 $a_1 = 1$ であり, a_1 は

奇数である.

$n \geq 2$ のとき,

$a_n = b_1 \times b_2 \times \dots \times b_{n-1}$

より, a_n は奇数であることを

示すには, b_i (i は自然数)

が奇数であることを示せばよい.

$5^{2^{i-1}} + 1 = (4 + 1)^{2^{i-1}} + 1$

$= \sum_{k=0}^{2^{i-1}} \binom{2^{i-1}}{k} 4^k + 1$

$= \sum_{k=1}^{2^{i-1}} \binom{2^{i-1}}{k} 4^k + 1 + 1.$

ここで, $k = 1, 2, \dots, 2^{i-1}$ に対し,

$\binom{2^{i-1}}{k}$ は整数 q であり,

$\sum_{k=1}^{2^{i-1}} \binom{2^{i-1}}{k} 4^k$ は 4 の倍数の

和であり 4 の倍数 $4q'$ であり,

$5^{2^{i-1}} + 1$ は 4 で割ると 2 余る.

よって, b_i は 2 で割ると 1 余る

ことになり, b_i は奇数である

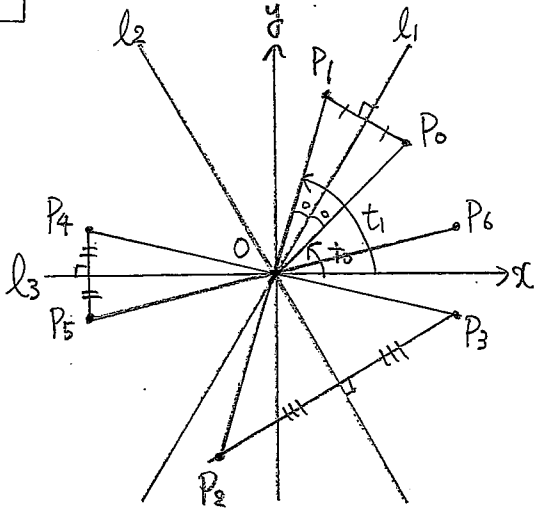
ことを示すことができる.

以上により, 任意の自然数

n について, a_n は奇数であることを

示すことができる. (証明終り)

3



l_1 と x 軸の正の向きがなす角は $\frac{\pi}{3}$ であるから、図より、

$$t_1 = \frac{\pi}{3} + \left(\frac{\pi}{3} - t_0\right) = \frac{2}{3}\pi - t_0.$$

さらに、

$$t_2 = t_1 + \pi = \frac{5}{3}\pi - t_0.$$

$0 \leq t_0 < \frac{\pi}{3}$ のときは、同様に、

$$t_3 = \frac{5}{3}\pi + \left(\frac{5}{3}\pi - t_2\right) = \frac{5}{3}\pi + t_0.$$

$$t_4 = t_3 - \pi = \frac{2}{3}\pi + t_0.$$

$$t_5 = \pi + (\pi - t_4) = \frac{4}{3}\pi - t_0.$$

$$t_6 = t_5 - \pi = \frac{\pi}{3} - t_0.$$

これはすべて $0 \leq t_i < 2\pi$ を満たしている。

また、 $t_0 = \frac{\pi}{3}$ のときは、

$$t_1 = \frac{\pi}{3}, t_2 = \frac{4}{3}\pi, t_3 = 0,$$

$$t_4 = \pi, t_5 = \pi, t_6 = 0.$$

問1. $t_0 = \frac{\pi}{4}$ より、

$$t_1 = \frac{5}{12}\pi, t_2 = \frac{17}{12}\pi. \dots (\text{答})$$

問2. $t_0 = \frac{\pi}{3} - t_0 \dots (\text{答})$

$$0 \leq t_0 \leq \frac{\pi}{3} \text{より } 0 \leq t_0 \leq \frac{\pi}{3}$$

であるから、 P_0 は $0 \leq y \leq \sqrt{3}x$ の表す領域の点である。(証明終り)

問3. 問2の結果より、 P_0 を改めて

P_0 と見なすことができる。よって、

$$t_{12} = \frac{\pi}{3} - t_0 = \frac{\pi}{3} - \left(\frac{\pi}{3} - t_0\right) = t_0.$$

OP_i の長さがすべて1であることにも注意すれば $P_0 = P_{12}$.

(証明終り)

4

線分OA上を動く点Qは $(t, 3t)$
 $(0 \leq t \leq 1)$ とおける。 $P(a, b)$ のとき

$$PQ = \sqrt{(t-a)^2 + (3t-b)^2}$$

$$= \sqrt{10t^2 - 2(a+3b)t + a^2 + b^2}$$

$$= \sqrt{10\left(t - \frac{a+3b}{10}\right)^2 + \frac{1}{10}(3a-b)^2}$$

($=f(t)$ とおく)

の $0 \leq t \leq 1$ における最小値が $d(P)$ である。

問1. $(a, b) = (5, 2)$ のとき

$f(t) = 10\left(t - \frac{11}{10}\right)^2 + \frac{169}{10}$ であり、これは
 $t=1$ のとき最小値 17 をとるから、
 $d(P) = \sqrt{17}$ (答)

問2.

$$d(P) = \begin{cases} \sqrt{f(0)} & \left(\frac{a+3b}{10} \leq 0 \text{ のとき} \right), \\ \sqrt{f\left(\frac{a+3b}{10}\right)} & \left(0 < \frac{a+3b}{10} < 1 \text{ のとき} \right), \\ \sqrt{f(1)} & \left(1 \leq \frac{a+3b}{10} \text{ のとき} \right) \end{cases}$$

$$= \begin{cases} \sqrt{a^2 + b^2} & (a+3b \leq 0 \text{ のとき}), \\ \frac{|3a-b|}{\sqrt{10}} & (0 < a+3b < 10 \text{ のとき}), \dots (\text{答}) \\ \sqrt{a^2 + b^2 - 2a - 6b + 10} & (10 \leq a+3b \text{ のとき}). \end{cases}$$

問3. $P(a, a^2)$ とおけるので、問2の結果より

$$d(P) = \begin{cases} \sqrt{a^2 + a^4} & (a+3a^2 \leq 0 \text{ のとき}), \\ \frac{|3a-a^2|}{\sqrt{10}} & (0 < a+3a^2 < 10 \text{ のとき}), \\ \sqrt{a^4 - 5a^2 - 2a + 10} & (10 \leq a+3a^2 \text{ のとき}). \end{cases}$$

$$= \begin{cases} \sqrt{a^4 + a^2} & \left(-\frac{1}{3} \leq a \leq 0 \text{ のとき} \right), \dots (i) \\ \frac{|3a-a^2|}{\sqrt{10}} & \left(-2 < a < -\frac{1}{3}, 0 < a < \frac{5}{3} \text{ のとき} \right), \dots (ii) \\ \sqrt{a^4 - 5a^2 - 2a + 10} & (a \leq -2, \frac{5}{3} \leq a \text{ のとき}). \dots (iii) \end{cases}$$

(i) のとき

$$\sqrt{a^4 + a^2} \leq \sqrt{\left(-\frac{1}{3}\right)^4 + \left(-\frac{1}{3}\right)^2} < \sqrt{10}$$

より。

$d(P) = \sqrt{10}$ となる実数 a は存在しない。

(ii) のとき

$$\frac{|3a-a^2|}{\sqrt{10}} = \sqrt{10}, \text{ すなわち } 3a-a^2 = \pm 10.$$

$$a^2 - 3a + 10 = 0 \dots \textcircled{1}$$

または

$$a^2 - 3a - 10 = 0. \dots \textcircled{2}$$

①について、(判別式) $= (-3)^2 - 40 < 0$ より

①は実数解をもたない。

②は $(a-5)(a+2) = 0$, すなわち $a = 5, -2$
 となるが $-2 < a < -\frac{1}{3}, 0 < a < \frac{5}{3}$ を満たさず不適。

(iii) のとき

$$\sqrt{a^4 - 5a^2 - 2a + 10} = \sqrt{10}.$$

$$a^4 - 5a^2 - 2a = 0.$$

$$a(a+2)(a^2 - 2a - 1) = 0.$$

$$a = 0, -2, 1 \pm \sqrt{2}.$$

$$a \leq -2, \frac{5}{3} \leq a \text{ より } a = -2, 1 + \sqrt{2}.$$

(i) ~ (iii) より 求める P の x 座標は

$$-2, 1 + \sqrt{2}. \dots (\text{答})$$